

## 【第13期第2回会員総会 議事録】

日時：2024年5月25日 16:00-17:00

場所：麗澤大学 1503 教室+オンライン (Webex)

司会：星純子

議長：伊藤信悟

書記：岡野〔葉〕翔太

### 報告

#### 1. 理事長・事務局

##### (1) 北波理事長

北波理事長より、開催校とシンポジウムを共催する日本台湾交流協会に対する謝辞と4月3日に発生した台湾東部地震の犠牲者への哀悼の意が述べられた。そして、学会誌の刊行に際し台湾協会より支援がなされたこと、対外発信強化プロジェクトにおいて優秀学会賞論文を英訳する際に台北駐日経済文化代表処より支援があったことへのお礼も併せて述べられた。

##### (2) 川上事務局担当理事（代理：五十嵐総務担当理事）

現在の会員数について報告がなされた。2024年5月25日現在の会員数は445名（一般会員378名、学生会員50名、シニア会員17名）。過去1年間で入会17名、シニア会員への移行2名、退会10名であった。また、川上理事がアジア経済研究所を退職したため、学会関連の郵便物を郵送する際は、川上理事個人宛でなく、日本台湾学会事務局宛と明記して郵送するよう報告された。

#### 2. 各業務担当

##### (1) 五十嵐総務担当理事

『日本台湾学会報』バックナンバーの在庫保存について下記の報告がなされた。

- 副理事長と編集委員長にバックナンバー（16号除く）を移管し、学会保存分とした。
- 台湾の図書館等へ寄贈した。寄贈に際しては富田会員、洪理事の協力を得た。
  - ・ 国家図書館：1～12号、19号
  - ・ 中央研究院民族学研究所図書館：5号
  - ・ 中央研究院人文社会聯合図書館：6号
  - ・ 台湾文学館：1～8号
- 今後の事務局保管基準
  - ・ 発行当初の在庫：30冊（新規入会者、まとめ払い会員への払い出し用等）
  - ・ 発行から1年後：20冊（まとめ払い会員への払い出し用等）

- ・ 発行から2年後 : 10冊
- ・ 発行から3年後 : 破棄
- 余剰分は、第26回大会（麗澤大学）で配布（50冊程度、残余分は廃棄）する。
- EBSCO社よりオンライン公開出来ないか、打診があり、現在編集委員長が進めている。これについては、理事長が契約者となる。

## （2）山崎会計財務担当理事

山崎理事より会費納入率と2023年度決算の総括について報告があった。

- 会費と会費納入率について：総会員数442名（一般376人、学生50人、シニア16人）〔2024年5月6日現在〕の2023年度会費納入率は以下の通りとなる。
  - ・ 全体77.23%（329/426名）※分母は一般+学生
  - ・ 一般78.46%（295/376名）
  - ・ 学生68.00%（34/50名）
- 山崎理事より会計総括として以下の報告がなされた。
  - ・ 2023年度の純利益と純支出の差額は261,670円であり、前年に引き続き黒字運営であった。
  - ・ 第25回学術大会回学術大会に3機関（公益財団法人日本台湾交流協会、台北駐日経済文化代表処、大幸財団）より54万2510円の補助があった。
  - ・ ほとんどの支出項目が予算を下回る堅調な学会運営がなされたことが黒字の理由と考えられる。

## （3）宮岡広報担当理事（代理：五十嵐総務担当理事）

宮岡理事より以下の報告がなされた。

- ウェブ関連
  - ウェブサイト、ブログ、メール情報配信サービスは通常通り。メール情報配信サービスは、前回総会后、2024年5月20日までに224～256号を発行した。
- メーリングリストの登録アドレス数
  - JATS Mail Newsの登録アドレスは全487件。うち会員428名、賛助会員6件、事務局1件である（2024年5月20日現在）。
- ニュースレター関連
  - ・ 45号は、特集「第25学術大会を振り返って」、受賞のことば、学会参加記、学会活動報告を掲載し、2023年10月に発行した。
  - ・ 46号は、特集「はじめて台湾／日本へ行ったとき」、総統選挙観察、学会活動報告を掲載誌、2024年4月に発行した。
- メーリングリスト配信不具合への対処
  - ・ 2024年5月初旬、252号（大会案内ファイル7件添付）不達の情報複数が複数の会員より寄せられたため、254号で大会案内の重要情報をテキスト形式で配信し、255号で

大会ホームページのパスワード、学会ホームページにメーリングリスト最近号を掲載した旨とその閲覧用パスワードを記載し、配信した。

- ・ 学会ホームページでもメーリングリストに不具合が生じている旨の説明をし、パスワード不明の会員はウェブ担当幹事に問い合わせるよう周知した。
- ・ 当面の対応策として、自身の登録アドレスにメーリングリスト最近号が届いていない会員については、登録アドレスの追加をお願いしたい。
- ・ 会員各位は学会ホームページで、学会情報の確認されるようお願いしたい。

#### (4) 赤松編集委員長

第 25 号では、第 24 回学術大会シンポジウム原稿のほか、書評 9 本、研究動向 1 本、書評へのリプライ 1 本、エッセイ 1 本が掲載された。また、現在、26 号を編集集中である。第 26 号『日本台湾学会報』には、シンポジウム原稿 4 本、論文 6 本、書評 5 本、エッセイ 1 本が掲載予定である。現在、文成出版に入稿済みで、7 月の刊行を予定している。

#### (5) 富田企画委員長

第 26 回学術大会には分科会企画 4 件、自由論題 10 件の申請があり、全て採用された。台湾文学学会会員からの応募はなかった。自由論題報告をおこなうことになっていた周俊宇会員が 12 月 25 日に逝去され、当該報告はとりやめとなった。自由論題のコメンテータのうち 2 名が非会員であり、うち関西在住の 1 名に交通費を支給した。

#### (6) 菅野・洪国際交流担当理事

菅野理事より対外発信強化プロジェクト（優秀学会賞論文英訳支援）に関する報告がなされた。主な内容は下記の通り。

##### ○ 対外発信強化プロジェクト

- ・ 優秀学会賞論文英訳支援として、代表処 15 万円+学会 5 万円=20 万円を補助し、提携誌 Journal of Contemporary East Asia Studies (JCEAS) : 早大現代中国研究所・Routledge に推薦する。
- ・ 翻訳対象論文は、新田龍希「胥吏と台湾の割譲 — 南部台湾における田賦徴収請負機構の解体をめぐって」(第 21 号: 第 11 回学会賞 歴史社会分野) である。
- ・ 英訳が完了し、翻訳会社への支払いも済んだが、出版社 web 投稿システム上のエラーにより投稿手続きが完了できず、出版社での対応が必要なため遅延が生じた。
- ・ 代表処からの補助分も学会口座に入金され、JCEAS 誌に査読者 2 名を推薦した。
- ・ 現在査読者 2 名により査読中で、特に問題がなければ JCEAS 誌のオンラインジャーナルサイトに掲載予定である。

##### ○ その他: 地域研究学会連絡協議会 (JCASA)

- ・ ニュースレター第 18 号に JATS 活動報告提出、掲載済 (2024 年 3 月) である。

(7) 定例研究会〔統括：明田川理事〕

明田川理事より、定例研究会（関東、関西、台北）について報告がなされた。

- ・ 定例研究会では、昨年度の会員総会以来、関東部会で 8 回、関西部会で 1 回開催された。なお、台北部会では開催がなかった。

## 議題

### 1. 2023 年度決算案

(1) 決算案（山崎理事）

山崎理事より、2023 年度決算案が報告された。

(2) 会計監査（張監査）

張監査により会計監査報告がなされた。2023 会計年度の決算報告書及び会計資料を、根岸忠会員とともに監査を行った結果、適正であることが確認されたことが報告された。決算案は、異議なく原案通り承認された。

### 2. 2024 年度予算案（山崎理事）

2024 年度予算案について、山崎理事より以下の説明が行われ、異議なく原案通り承認された。

- ・ 2023 年度予算は 195 万円に下方修正を行った。
- ・ 振込手数料の値上げなどを鑑み、通信費と事務局経費を見直すこととし、通信費を 5 万円上乘せることとした。
- ・ 遠方の理事が多いため、交通費も見直し、20 万円とした。
- ・ ニュースレターの項目を見直し、2025 年度以降は計上しないこととした。

### 3. 会計監査の選任（北波理事長）

北波理事長より、会計監査の推薦があった。現在の根岸忠会員に加え、下野寿子会員を 2025 年度までの 2 年任期で推薦された。以上の議案について、異議無く承認された。

### 4. 選挙管理委員の選任（吉田第 12 期選挙管理委員）

吉田慎吾会員（五十嵐理事代読）より、委員長として池上ひろし会員、委員として横田祥子会員、村上衛会員が推薦された。以上の議案について、異議無く承認された。

### 5. 『台湾文化事典』編纂協力について（明田川理事）

明田川理事より配布資料にもとづき、『台湾文化事典』への編集協力について経緯、事典内容の説明がなされ、審議が求められた。主な内容は下記の通り。以下の議案について、異議無く承認された。

- ・ 事典は全8章からなり、2026年秋に刊行予定である。
- ・ 「日本台湾学会編」とすることが可能か、審議が求められた。

#### 6. 第27回学術大会について（北波理事長）

第27回学術大会については、大東会員が実行委員長となり、2025年5月24日と25日に関西学院大学（兵庫県）において開催することが報告された。

#### 7. その他

- 赤松理事より『日本台湾学会報』第27号への投稿の呼びかけが行われた。申込締め切りは9月15日、提出締め切りは10月15日を予定。
- 富田理事より来年度の学術大会に向けた呼びかけが行われた。7月半ばごろに会員にお知らせをする予定。締め切りは10月半ばの予定。

以上